

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（鈴木）		
教員名	鈴木 鉄忠			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	3年次の課題演習で取り組んだゼミ論文を基礎として、大学生活の学びの総決算であり、今後の人生の背骨となるような卒業論文の作成を目指します。受講生は、「スローと現代社会」に関する理解を深めるために、先行研究のサーベイと現地調査（フィールドワーク、インタビュー、アンケート、ドキュメント分析）を行います。最終的に2万字以上の論文としてまとめ、卒業論文報告会で発表します。						
到達目標	卒業研究では、「自分にしか書けないことを、誰にでもわかるように書く」ために、以下の4つの目標の実現に取り組みます。 ①「スローと現代社会」に関するテーマから、独自の「問い」を立てること ②現場（フィールド）の人々や物事と直接かかわり、フィールドワーク、インタビュー、アンケート、ドキュメント分析のいずれか（または複数の方法）を駆使して、オリジナルなデータ・資料・事例・論拠をつくること ③論文（2万字以上）としてまとめること ④論文のプレゼンテーションを行い、根拠に基づいた見解を他の人びとに説得的に伝えること						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	課題図書および卒業論文をめぐる受講生の報告とディスカッションを中心に進めます。担当教員は、受講生同士の学びを促したり、深めたりするための「つなぎ役」（メディエーター）として議論に参加します。 発表や議論へのコメントや助言については、ゼミ内外の時間を通じて適宜フィードバックしていきます。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	この課題演習では、文献や資料を「読み」、必要な情報を「探し」、事例と関連する現場を「歩き」、現場の人の話を「聴き」、グループで「話し合い」、レポートに「書き上げる」ことで、社会で必要とされる総合的な応答力を身に着けることを目標とします。そのため「ちょっと大変」と感じるかもしれませんが、社会で活躍する「将来の自分への投資」と考え、積極的に演習に取り組むことを求めます。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加20%、授業での発表20%、卒業論文の作成50%、ゼミ活動への参加10%の比重によって、総合的に評価します。						
教材	以下の2冊は、論文作成の手引きとして各自で入手してください。 小笠原喜康(2018)『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書 小笠原喜康／片岡則夫(2019)『中高生のための論文入門』講談社現代新書						
参考図書	論文の書き方については、以下を参照のこと。 河野哲也(2018)『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶応義塾大学出版会 野矢茂樹(2006)『入門!論理学』中公新書						
	前期は、卒業研究に関する個人報告とグループ議論を中心に行います。後期は、卒業論文の作成にむけた個人報告を中心に行います。 前期 第01回 ガイダンス・個人報告の担当決定 第02回 個人報告とグループ議論① 第03回 個人報告とグループ議論② 第04回 個人報告とグループ議論③ 第05回 個人報告とグループ議論④ 第06回 個人報告とグループ議論⑤ 第07回 個人報告とグループ議論⑥ 第08回 卒業研究の中間ミニレポートの提出 第09回 個人報告とグループ議論⑦ 第10回 個人報告とグループ議論⑧ 第11回 個人報告とグループ議論⑨ 第12回 個人報告とグループ議論⑩ 第13回 個人報告とグループ議論⑪ 第14回 卒業研究の期末ミニレポートの提出						

内容・スケジュール	第15回 総括・まとめ
	後期 第16回 ガイダンス・個人報告のスケジュール決定 第17回 個人報告① 論文の調査実施とその結果に関する報告 第18回 個人報告② 論文の調査実施とその結果に関する報告 第19回 個人報告③ 論文の調査実施とその結果に関する報告 第20回 個人報告④ 論文の調査実施とその結果に関する報告 第21回 個人報告⑤ 論文の進捗に関する中間報告 第22回 個人報告⑥ 論文の進捗に関する中間報告 第23回 個人報告⑦ 論文の進捗に関する中間報告 第24回 個人報告⑧ 論文の進捗に関する中間報告 第25回 個人報告⑨ 論文の追加調査、仕上げ、結論、課題に関する報告 第26回 個人報告⑩ 論文の追加調査、仕上げ、結論、課題に関する報告 第27回 個人報告⑪ 論文の追加調査、仕上げ、結論、課題に関する報告 第28回 個人報告⑫ 論文の追加調査、仕上げ、結論、課題に関する報告 第29回 論文の提出、質疑応答、推敲 第30回 後期の総括・まとめ  卒業論文の作成に関する先行研究の検討、対象の選定、現地調査の実施、データの分析と考察、論文執筆、議論を行う

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis			
Name	鈴木 鉄忠 (Suzuki Tetsutada)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4	
Course Outline	Based on the seminar work that was tackled in the Junior Specialty Seminar, we aim to create a graduation thesis. Students will conduct surveys of previous studies and field research to deepen their understanding of "slowness and modern society". Ultimately summarize as a paper of over 20,000 words, and present it at the graduation thesis report meeting.					